

# 成人看護学概論

必修

開講年次：2 年次前期

科目区分：講義

単 位：1 単位

講義時間：15 時間

■**科目のねらい**：成人期にある人の身体・精神・社会的な特徴とライフスタイル、及び健康障害の関係を理解し、病期と機能障害の視点から治療と看護の特徴を学ぶ。成人をホリスティックに理解するための理論、概念を学び、看護過程の展開へ結びつける。

■**到達目標**：①成人期の身体的・心理的・社会的特徴とライフスタイルの関係について説明できる。  
②成人期のライフスタイルと健康障害の関係について説明できる。  
③健康障害の病期および機能障害に基づく治療と看護の特徴を説明できる。  
④看護に有用な理論・概念を適用して、各病期における看護アセスメントの要点を説明できる。  
⑤事例を通して成人期における看護過程の展開を理解できる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎川村 三希子・小田 和美

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 ・コースガイド～成人看護学概論と関連科目  
・成人看護学の目的・特性  
・成人保健の動向・成人の発達段階
- 第 2 回 ・成人期のライフスタイルと健康障害の特徴
- 第3～4回 ・急性期（周手術期）における健康障害・治療・看護の特徴  
・急性期看護に有用な理論・概念
- 第5～6回 ・回復期（リハビリテーション期）～慢性期における健康障害・治療・看護の特徴  
・回復期（リハビリテーション期）～慢性期に有用な理論・概念
- 第 7 回 ・終末期・がん看護における健康障害・治療・看護の特徴  
・終末期看護・がん看護に有用な理論・概念
- 第 8 回 ・事例を通して成人期における看護過程の展開を理解する

■**教科書**：大西和子他編（2009）成人看護学概論 第2版 ニューヴェルヒロカワ  
鈴木久美他編（2010）成人看護学慢性期看護 南江堂

■**参考文献**：安酸史子他編（2004）ナーシンググラフィカ22 成人看護学概論 メディカ出版  
氏家幸子他編（2008）成人看護学原論 第3版 廣川出版  
黒田裕子編（2013）成人看護学 第2版 医学書院

■**成績評価基準と方法**：筆記試験70%、授業内での課題レポート30%

評価方法	到達目標					評価基準	評価割合 (%)
	到達目標 ①	到達目標 ②	到達目標 ③	到達目標 ④	到達目標 ⑤		
定期試験	◎	◎	◎	○	◎	授業内容の理解	70%
レポート	○	○	○	◎	○	知識の活用 (論理的思考力)	30%
出席						2/3未満の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：形態機能学Ⅰ・Ⅱ、病理病態学、疾病治療学概論、疾病治療学A・B、臨床栄養学、公衆衛生学、生命倫理、人間発達援助論、看護理論、看護過程論、症状マネジメント論、成人看護援助論、成人看護技術論、がん看護学、リハビリテーション看護学、透析ケア、重症集中ケア、救急看護学、パリアティブケア

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：専門科目になってきます。今まで学習した共通科目、専門基礎科目（特に形態機能学Ⅰ・Ⅱ）、専門科目（疾病治療学、人間発達援助論、看護理論など）を復習し、理解しておきましょう。